



奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和七年十二月度 入賞句一覧 投句数 四百六十九句

特選

大堀 武直 選

若者の夢語りつつ日記買ふ

大垣市

安田 むつこ

「日記買ふ」は年用意の一つで、新しい日記に来る年への期待が込められる。自分の想いや出来事をエッセイ・日記・俳句等に文字化すると整理ができ、より客観的になれるという。若者の夢は何であろう。日記によつてさらに大きく広がりそうだ。

鎮守への標となりし冬紅葉

本巣郡北方町

谷 弘行

「冬紅葉」は紅葉が冬になっても色つきを留め、枝に残っているもの。普段は気に留める人もいないが、枯れた風景の中では特に目立つようになる。近くにある鎮守への道標となった。その木を見上げながら行き交う人々の様子も見えてくる。

背伸びして賽銭投ぐる七五三

三重県四日市市

後藤 允孝

「七五三」は髪置・袴着・帯解が統合されたもので、着飾つて神社に詣りお祓いをしてもらう儀式。大人の真似をして賽銭を箱に入れようとしますが、背伸びをしてさらに投げないと届かない。何とも微笑ましくかわいらしい情景である。

秀逸

澄みわたる空へ空へと穂綿かな

不破郡垂井町

野々部 節子

稲架竹を納めて見あぐ伊吹山

大垣市

平野 順一

積読をただ積みなおす冬支度

大垣市

浅野 翔泉

往診の医者は普段着冬うらら

岐阜市

伊藤 をさむ

小六月睡魔やさしく襲ひけり

大垣市

高津 喜久子

冬の朝まだ眠そうな街の色

不破郡垂井町

中嶋 結映

芝浜がラジオで流れ師走かな

大垣市

村井 娑婆

山眠る古びし地図の三角点

安八郡安八町

わたなべ ゆず季

小春日のおもちやの医者の開院日

岐阜市

寺町 敬司

秋澄みて雲に乗りたる神の峰

愛媛県松山市

平野 ヒサエ

入選

一般の部

今日の月あわてんぼうも立ち止まる

大垣市

佐藤 千賀

もみづるやライトアップの神楽舞

和歌山県日高郡

水野 あき

氏神の新嘗祭に竹きしむ

大垣市

後藤 慶子

安産の御礼参や色落葉

大垣市

高木 歌佐

秋時雨郷の墓前に経を読む

大垣市

安田 むつこ

クラス会の一期一会や返り花

大垣市

久保田 悟義

繰りごを綴りて夜長を短くす

大垣市

大橋 浩美

朱色差す一葉残りし壁の蔦

岐阜市

寺島 鐔太

銀杏散る楽しいことのある様に

不破郡垂井町

竹嶋 富美子

しわの手を揉んで伸ばして柚湯かな

大垣市

北浦 典子

かがり火や神楽の影の伸び縮み

養老郡養老町

佐藤 咲楽

留守たのむ一行メモや神の旅

大垣市

三輪 実

稜線も襷も崩して時雨来る

東京都江戸川区

羽住 博之

水晶のかけらの如き初時雨

東京都中央区

清水阿貴子

川沿ひに市立つ飛騨の小春かな

岐阜市

辻 雅宏

選者吟

「働いて」を五回唱ふる年の暮

武 直

